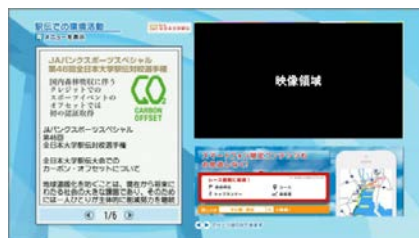


公益社団法人 日本学生陸上競技連合

秩父宮賜杯第46回全日本大学駅伝対校選手権大会実施運営における
カーボン・オフセット

秩父宮賜杯第46回全日本大学駅伝対校選手権大会実施運営において、選手・大会関係者の移動、大会前日と当日の運営関係、大会終了後の廃棄物運搬によって生じるCO2をカーボン・オフセットする。



取組の概要

大会運営において、テレビ中継による燃料・電力使用、運営車・伴走車及び中継車の燃料、選手及び大会関係者の移動に伴って発生するCO2を、大会運営後の実測値を元に算出し、オフセットする。第46回大会では、被災地産J-VERを活用することで復興支援にも貢献している。

オフセットの分類	会議・イベント型	認証取得(制度名)	カーボン・オフセット認証
----------	----------	-----------	--------------

取組の実施時期	2014年11月1日～2014年11月2日
---------	-----------------------

クレジット	クレジットの種類	J-VER
	プロジェクトの種類	森林吸収系
	プロジェクトの名称	①宮城県林業公社有林における間伐促進による震災復興と森林吸収J-VERプロジェクト(気仙沼管内)②岩手県有林における森林吸収量取引プロジェクト③釜石地方森林組合による集約化施業(森林整備活動)を用いた温室効果ガス吸収事業～釜石市緑のシステム創造事業～
	プロジェクト実施地	①宮城県、②岩手県、③岩手県

オフセット量	①14tCO2、②14tCO2、③15tCO2、合計:43tCO2
--------	-----------------------------------

無効化日	2015年4月10日(予定)
------	----------------

販売数、参加者数等	
-----------	--

価格、参加費、クレジット費用の負担	
-------------------	--

オフセット・プロバイダー	三菱UFJリース株式会社
--------------	--------------

オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法	GHG排出量の削減努力
---------------------------	-------------

- ・テレビ中継におけるヘリコプターのジェット燃料及び電力
- ・運営車・伴走車(警察関係車両は除く)及び中継車の燃料
- ・選手・大会関係者の移動(飛行機・電車・車輛等)に伴う電力・燃料
- ・廃棄物運搬車の燃料

人数は①1チームの最少人数+補欠選手②各学連からの参加担当者③運営担当チームの総数を元に保守的に設定。距離は各大学の出発地の最寄駅から名古屋駅を対象とし、燃料消費量・消費電力量は報告書からCO2排出量を算定。

- ・照明の調節・消灯。

- ・運営車・搬送車(警察関係車両は除く)には低燃費車、低公害車を使用。

- ・中継所の設営には、再利用可能な資材を利用。

- ・効率的な重機の使用を促進するなど、会場準備に係るエネルギー使用の効率化を図る。

- ・分別回収したものはリサイクル業者に引き渡す。

取組んだことによるメリット・良かった点	取り組む際に工夫した点・苦労した点
---------------------	-------------------

- ・大会終了後に主に出場校の学生を対象に、カーボン・オフセットのアンケートを行うことで、本取組の認識が深まった。
- ・J-VERを利用することで、地域の活性化や復興支援に繋がる点に賛同が得られ、有意義な取組として認識された。

- ・駅伝大会の様子はテレビ中継、ワンセグ放送によって伝えられるため、番組内の文字放送を活用し、テレビというメディアを通し、多くの人にカーボン・オフセットの取組を知ってもらえるようにした。

【問い合わせ先】

三菱UFJリース株式会社
オフセットサービス室
担当: 牧野 佐和子

TEL: 03-6865-3023

Email: offset-2@lf.mufg.jp

ウェブページ: <http://www.lf.mufg.jp/natural/index.html>